



夢の島カップ2014 帆走指示書

主催 東京ヨットクラブ(TYC)
後援 東京夢の島マリーナ
協力 スバル興業株式会社

1. 適用規則

セーリング競技規則2013-2016(以下、「RRS」と略する。)に定義された「規則」を適用する。
適用規則より当該レースの「レース要綱」、「本帆走指示書」並びに「TYCレース2014帆走指示書」により修正されたものは除外され、別途、帆走指示書が作成されたレースの場合はその帆走指示書を優先する。
レース要綱、本帆走指示書に矛盾が生じた場合、帆走指示書を優先する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、レース本部(東京夢の島マリーナ1階アトリウム内)に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効するレースの艇長会議までに掲示される。
但し、レース日程の変更は発効する前日の17時までにTYCホームページにて通告する。
レース海面での帆走指示書の変更は、予告信号前に本部船にて音響一声とともに「L」旗を掲揚し本部船から口頭または、ホワイトボードに記載して行う。

4. 出艇申告

参加艇は当該レースの艇長会議が始まるまでに、東京夢の島マリーナの出航届とレース参加者名簿をレース本部に提出し、リコールナンバーが記載されたクラス旗と連絡表を受け取ることで出艇申告とする。
但し、外来艇についてはレース参加者名簿のみ提出とする。

5. 艇長会議

艇長会議と基本タイムスケジュール(変更がある場合は、当該レースの艇長会議にて発表する。)

8:00 出艇申告受付
8:30 艇長会議
9:55 最初の予告信号予定時刻
10:00 スタート
15:00 タイムリミット(短縮時は13:30)
16:30 表彰式(予定)

6. コース

スタート(浦安沖灯標西側近辺)⇒京葉シーバース北西約2.1マイル近辺 回航マーク(反時計回り)⇒フィニッシュ(浦安沖灯標西方近辺)の往復約12マイル 《図参照》
但し、スタートラインの変更があった場合は、同時にフィニッシュラインも変更となる。

参加艇は以下に対し、細心の注意をはらい航行すること。本項に違反した艇はレース委員会により抗議される。

6.1. 東京湾アクラライン東水路の進入・航行禁止

6.2. 東京湾内を航行する本船(常に前後及びリーサイドのワッチを怠らないこと・本船を避けること)

7. クラス旗・TYC旗

クラス旗は次の通りとしリコールナンバーが記載される。

レースクラスA	ブルー	旗
レースクラスB	グリーン	旗
レースクラスC	イエロー	旗
クルージングクラス	ピンク	旗

参加艇は出艇申告で受け取ったクラス旗を、バックステア等の視認しやすい場所に掲揚する。

レース参加艇は、海上エントリー及びレース中にクラス旗を掲揚しなければならない。

8. 海上エントリー

レース参加艇は、本部船に「L」旗と「Y」旗が掲げられて、最初にスタートするクラスの準備信号が発せられる迄に、レース海面において本部船をスターボード側(右側)に見ながらスターン側から近づきバウ側に進行して本部船からの確認を受け、海上エントリーを行われなければならない。その際、他の艇との接触に注意し確認を受けた艇は速やかに本部船から離れる。

レース参加艇のすべての競技者は、衣類または個人装備を一時的に着替えたり整えたりする間を除き、ライフジャケットまたは、その他の適切な個人用浮揚用具を着用していなければならない。海上エントリー及びレース中に競技者がこれを履行していない場合はレース委員会より抗議される。

個人用浮揚用具のウエストベルト式については着用しているとは認めない。

L旗



Y旗



9. スタートライン

スタートは、浦安沖灯標西側約0.5マイルの N35° 36' 54" E139° 52' 42" の付近とする。

TYC大エンサイン旗を掲げた本部船のマストとスタート・マークを結ぶ線。(本部船がパワーボートの場合はフラッグポールとする)

スタート後10分以内にスタートラインを切れなかった艇は「DNS」と記録される。

この項は「RRS付則A4」を変更している。



10. スタート

スタートは、RRS26に従い次の通りとする。

時間	視覚信号	音響信号
予告信号(5分前)	クラス旗 掲揚	音響1声
準備信号(4分前)	P旗(又はI旗)掲揚	音響1声
1分信号(1分前)	P旗(又はI旗)降下	長音1声
スタート	クラス旗 降下	音響1声

P旗



準備信号

※RRS30. 1のI旗規則を適用する場合がある。

予告信号は各クラス旗とする。

スタート順は、次の通りとする。

初めにスタートするクラス

クルージングクラス

次にスタートするクラス(15分後)

レースクラス A

レースクラス B

レースクラス C

予告信号が発せられていないクラスの艇は、発せられたクラスの艇のスタートを妨げてはならない。

レース参加艇は、各クラスのスタート信号後 10 分以内にスタートしなければならない。スタートできなかった艇は、以後スタートはできず、次のクラスのスタートがある場合は、その艇のスタートを妨げないように速やかにスタート・ライン及びプレ・スタート・サイドから離れなければならない。

スタート時のスピナーカー使用については、スタート信号後、スタートラインを艇全体が完全に横切るまで展開(ホイスト)を認めない。

違反した場合は所要時間に対して 10%のペナルティを課す。

11. 本部船

艇長会議時に発表する。

12. スタート延期

予告信号前、または予告信号後でもスタート信号前に、何等かの理由によりレースを延期することができる。

スタートの延期は、音響信号2声と共に「AP」旗を掲揚する。その際、クラス旗や「P」旗その他スタートに関する旗は降下される。その後の予告信号は音響信号1声とともに「AP」旗を降下した1分後に発する。

13. リコール

リコールがあった場合には、音響1声と共に「X」旗を掲揚する。

予告信号前、または予告信号後でもスタート信号前に、何等かの理由によりレースを延期することができる。

スタートの延期は、音響信号2声と共に「AP」旗を掲揚する。その際、クラス旗や「P」旗その他スタートに関する旗は降下される。その後の予告信号は音響信号1声とともに「AP」旗を降下した1分後に発する。

「X」旗は、リコールした全ての艇がリコールを解消した場合、あるいはスタート信号10分経過後のいずれか早い時点で降下される。

尚、リコールを解消しなかった艇には5%のタイムペナルティーを課す。この項は「RRS付則A4」を変更している。

14. ゼネラルリコール

ゼネラルリコールが発せられたときは、音響2声と共に第一代表旗を掲揚する。

新しいスタートの予告信号は、第一代表旗を降下(音響1声)の1分後に発せられる。

15. フィニッシュライン

フィニッシュラインは、スタートラインと同じ浦安沖灯標西方付近を予定とする。但し、スタートラインが変更になった場合は、フィニッシュラインも変更される。

フィニッシュラインは、本部艇(TYC大エンサイン掲揚のマスト又はポール)と、リミットマークの間とする。

16. コース変更

コース変更は、先頭艇が回航マークを反時計回りに回航する前に、運営船が回航マーク付近にて「C」旗を掲揚する。音声信号は反復音響を発する。

17. コース短縮

コース短縮は、先頭艇が回航マークを反時計回りに回航する前に、本部船または運営船が「S」旗を掲揚し、回航マーク西側付近に待機する。

クラス別にコース短縮を行う場合には、そのクラスのクラス旗の上にS旗を掲揚する。

18. エンジン使用

レース参加艇はレース中に動力としてのエンジンの使用は認められない。(レース中とはスタート4分前の準備信号からフィニッシュ・ラインを横切るまで)。しかし、落水者救助、遭難艇(船舶)救助、他の船舶との衝突回避(緊急避難)、離礁その他の緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを使用することができる。(RRS42. 3(h)参照)

エンジンをすみやかに使用出来なかったことは、6条各項の義務に対する免責とはならない。

エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的・時間・場所等)について、フィニッシュ後レース本部に速やかに報告しなければならない。

19. タイムリミット

全艇15:00とする。タイムリミット内にゴールできない艇はDNFとし、スタート延期によるスタート時刻の変更があっても変わらない。この項は「規則35および付則A4」を変更している。

20. レースの成立

レースの成立各クラスのトップ艇フィニッシュをもってレースは成立する。

タイムリミット内に当該クラスの1艇もフィニッシュしない場合には、そのクラスのレースはノーレースとする。(RRS35の変更)

21. 帰着申告

レースに参加した各艇は、ハーバーに帰港後直ちにレース旗と連絡表を陸上レース本部に対して返却すること。この返却をもって帰着申告とする。

フィニッシュ後1時間半以内に帰着の申告のない場合には「RRS60. 2」により抗議される。

但し、コース短縮になった場合は、できる限り早く返却する。

22. レースの中止

陸上では、夢の島マリーナアトリウム内に設置したレース本部の公式掲示板にて通知する。

海上及びスタート後は、本部艇に「N」旗を掲揚し、音響3声及びマリンVHFにて通告する。当日の全てのレースを中止するとき、本部艇にA旗の上にN旗を掲揚し、音響信号3声を発する。

再レースが行われる場合、「N」旗は音響信号1声で降下され1分後に予告信号が発せられる。

23. リタイア

リタイアする艇は、基本的に本部船に対してその意志を連絡しその伝達を確認すること。

無線に依る場合は、国際VHF若しくは携帯電話によるものとし、必ず受信応答を受けること。また、無線による連絡手段を持たない艇で、かつ本部船付近までの航行が困難な艇においては、帰港後、陸上レース本部に対して速やかにその旨を連絡すること。

ハーバーに帰港した際には、すみやかにレース本部に対して帰着申告を行うこと。(リタイアを海上にて連絡済みの艇においても、上記と同様に陸上レース本部に対して帰着申告時にその旨を伝えること。)

24. 抗議

原則として認めない。この項は「RRS」を変更している。各艇シーマンシップに則り、安全には十分注意する。

25. 参加費

無料

26. 成績決定方式

東京ヨットクラブ(TYC)独自のレーティングの修正時間により順位を決定する。

成績は4クラス別及び総合で集計を行う。

27. 表彰式

11月16（日）16:30予定

レース終了後、東京夢の島マリーナアトリウムにてレースの結果発表と表彰式をする。

28. 責任の所在

参加艇とその乗組員の安全に関する全ての責任は各艇にあるものとする。

当該レースの主催者、協力団体、協賛企業、並びにレース委員会は、参加艇や乗組員の事故（死亡、傷害、沈没、破損等）および、参加艇や参加者によって引き起こされた第三者に対する事故（死亡、傷害、沈没、破損等）に対して一切の責任を負わない。

参加艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かの判断は各艇が行うものであり、当該レースの主催者、協力団体、協賛企業、並びにレース委員会は一切の責任を負わない。

レース委員会とは、TYCレース委員会およびレース担当コミッティーとする。

「Y」旗の掲揚にかかわらず、レース参加艇の乗組員全員が個人用浮力体を着用しなければならない。

（RRS40の変更）

29. レース本部 及び 緊急連絡先

陸上本部 080-8082-0787 (TYCクラブハウス)

海上本部 080-1391-5877 (レース担当本部船)

(国際VHF) 艇長会議時にchを決定

東京夢の島マリーナ 03-5569-2710

東京海上保安部 03-5564-4999

海上緊急通報 118

海上本部船が使う国際VHFのチャンネルは、艇長会議時に発表する。

TYCでは安全なレース運営の為に、本部艇および警戒艇の通信は国際VHFを使用する。

リコール艇のコール等にも使用するので、国際VHFの利用を強く推奨する。

参考図

